



12/3 「高齢者疑似体験」をする 手助けできるかな？

4年生は、「福祉」をテーマにかがやき学習で（総合的な学習の時間）を進めています。今回は社会福祉協議会の計画で『高齢者疑似体験』をしました。足首・手首には重り、膝・肘の関節は固定、目には曇りの入ったゴーグル、耳にはヘッドホーンをつけ、段差や起き上がり、新聞を見るなどし、高齢者の生活のしづらさを体験しました。体験後の感想では「足や手が動きづらかった」「周りがぼやけて見づらかった」など、高齢者の生活の困難さや気持ちがわかったようでした。

もし、高齢者の方が困っているような場に立ち会ったら手助けができるかな？細江小学校の子供なら積極的に手助けができるよね！



12/5 3年生かがやき学習で「手もみ茶」体験をする

3年生は、かがやき学習で『お茶』をテーマに学習をしています。今回は「手もみ茶保存会」の協力を得て、手もみ茶の体験をしました。保存会の皆さんの指導で「露切り」「回転もみ」「玉とき」「もみ切り」などの方法を教えてもらい、茶葉の色やにおいの変化（色やにおいが濃くなるなどの感想）を感じながら一生懸命もんでいました。また、教室では茶葉を水出して試飲したり、食したりするなどの体験もしました。手もみ茶を説明する中で、手もみ茶の方法（回転法・でんぐり法）を考案した郷土の偉人である「田村宇之吉」や「橋山倉吉」の紹介もありました。

ボランティアの皆さんも先生と一緒に子供を指導したり、見守ったりしてくれました。



12/6 自分たちで育てた芋で切り干しづくり



すこやか学級の子供たちが育てた芋で「芋切り干し」を作りました。ボランティアの皆さんがあらかじめ蒸かしておいた芋の皮むきから始め、通称「ペンペン」という数本のピアノ線が張った用具に芋を通し、乾燥させる用具にきれいに並べる作業を協力してやることができました。最後に皆で味見をしましたが、食欲旺盛、アツという間に盛られていた芋がなくなりました。皆の満足そうな笑顔が素敵でした。

早朝よりお手伝いをして頂いたボランティアの皆さん、用具を貸して頂いた萩間小学校の皆さん、ありがとうございました。今年はきっと良い芋切り干しができると思います。



12/17 2年生 かがやき学習で「シチューづくり」

じゃがいも、人参、ブロッコリーなど各班でシチューの食材を用意し、タブレット画面のレシピをもとに調理を始めました。ピーラーの皮むき、包丁の使い方など危なっかしい場面もありましたがボランティアの指導を受けてシチューを作り上げました。どの班も良い味で上手にでき、試食でも各班の皆が「おいしい。おいしい。」と言って鍋いっぱいのおいしいシチューをたいらげました。子供たちは食材の切り方、調理の仕方など良い体験ができたと思います。ただ、自分たちで育てた野菜を食材として使った調理ができれば最高でした。また、2年2組がインフルエンザのため学級閉鎖になり予定通りできなかったのがとても残念でした。2組は1月に実施するようです。

ボランティアの皆さん、子供たちに寄り添い安全に気配りして頂き、ありがとうございました。

